

# Japanese Background Speakers

(Section I — Listening and Responding  
Part A and Part B)

Transcript

### Familiarisation Text

FEMALE: 来年のワールドカップ、日本もオーストラリアも行けるといいですね。

MALE: そうですね。

FEMALE: そして決勝で日本とオーストラリアが対決するともっといいです。

MALE: その時にはぼくはオーストラリアが勝つといいと思います。

## Section I — Listening and Responding

### Part A

#### Question 1

A: エリちゃん、どうしたの。

B: あ、翔君。色々めんどくさいことがあるんだよね。

A: エリちゃん、オーストラリア育ちだからね。

B: それぞれ、そういう風に言われるのがさ。もう、私、日本に10年も住んでるの  
にね。オーストラリアの田舎育ちだけど、日本人の母からも色々教えてもらっ  
てるから何にも知らないみたいに思われるのが、ちょっとね。バイト先のみん  
なは優しくていいんだけど、私を外人扱いするのが、すごく嫌。

A: ごめんごめん。でも、やっぱりハーフに見えるからね。

B: うーん。私はオーストラリア人のお父さんに似てるからね。

A: まあ、人はどうしたって、第一印象で入るっていうよ。

B: そうだね。それから、よくバイトの後、みんなと遊びに行ったりして楽  
しいけど、時々一人でゆっくりしたい時があるの。でも、日本人社会では、  
付き合いって大切だしね。断り切れなくて。これはオーストラリアの方が、  
仕事とプライベートをうまく分けてるのよね。

A: まあ、それも付き合いだからね。エリちゃん、色々悩んでるねえ。悩む子は  
大きくなるよう！

B: へへへ。もう一つ、問題があるんだけど…ごめんね。

- A: いいってことよ。
- B: 就職活動。履歴書にオーストラリアに住んでいたと書くと即、英語が話せるかと聞かれるのよね。
- A: ちょっと待って。英語ぺらぺらなんでしょ？
- B: 日本の生活が長いから、英語が錆びてきちゃって、仕事で使えるか自信ないんだよね。
- A: 僕なんか英会話学校に通っているけど、なかなか難しいよ。英語は就活に役に立つはずだから頑張ってるけど、止めちゃうと、今までの努力が無駄になるし。就活の準備をしていると自分が自分じゃなくなるみたいで、あー、もう、僕、どうしたらいいんだろう。
- B: 翔君。自信持って、もっと自分を磨いて、ポジティブになんなきゃ。がんばって！英会話の能力だって、ないより、少しはあったほうがいいでしょ。
- A: 今、僕もエリちゃんに同じことを言おうとしたんだよ。エリちゃんは悩みの解決方法を知ってるんじゃないかな。
- B: え？私が？
- A: ポジティブ、ポジティブ。ガンバガンバ。
- B: そっか、それが言いたくて、英会話のことを私に話したんでしょ。ありがとう。色々悩みがあるのは、私だけじゃないってことね。
- A: そう！「色々悩みがあるのは、あなただけじゃない。」

## Section I — Listening and Responding

### Part B

#### Question 2, Text 1

オンライン教育についての僕の考えを話したいと思います。インターネットの普及により、どこにいてもいろいろな人と繋がることができるようになり、既に幾つかの大学では、オンラインで授業が受けられるようになりました。これは家にいながら、どこからでも授業が受けられるようになったということです。大学に行くのに実際、足を運ぶ必要もなくなるので、通学の交通費もいらなくなります。時間も有効に使え、とても良いことだと思います。今は大学が主流ですが、多くの高校でもこれを導入してくれたら良いと思います。そうすれば、いじめを受けている人は、家で授業が受けられるので、ほかの生徒と会う必要もなく、また、転校せずに高校を卒業することができるでしょう。それに、学校の施設の縮小や、設備費用も節約することができるので、学校の授業料が安くなるかもしれません。

昔から通信教育というものがありましたが、今はそれがインターネットのおかげで、より効率よく勉強することが出来るようになりました。実際の授業の映像をリアルタイムで見ることができますし、宿題やアセスメントもメールで送れます。オンライン教育は、将来もっと需要があると思います。

## Question 2, Text 2

- A: なかなか面白い話だったよね。私は結構賛成だな。けんちゃんはどう思った？
- B: 僕はちょっとわからないな～。良いような気もするし、良くない気もするし…
- A: え～何それ？ちゃんと聞いてたの？
- B: 聞いてたよ。でもさ～、今でも、みんな勉強以外でコンピューターやスマホを使っている時間が多いのに、学校の授業もオンラインだとどうかな…？ そう思わない？
- A: そんなことないよ。みんなコンピューターを使うのに慣れてるから、2、3時間増えても、気にしないと思うわ。それに、コンピューターは便利だし、エッセイを書くときも、手書きよりコンピューターを使う方が楽だしね。
- B: そーかな。それに学校に行かないと、人と会う機会が減るから友人関係や、先生との上下関係なんかも学ぶチャンスが減るんじゃない？
- A: そんなことないよ。ネットで友達や先生とチャットもできるんだよ。いつでもわからないときにメールもできるから、コミュニケーションは、実際に会うより頻繁にとれるんだから。
- B: でも、一人でコンピューターに向かって勉強するより、ほかの学生がいるクラスで勉強するほうが、刺激があると、思わない。
- A: 何言ってるのよ。それが嫌だから、オンライン教育が良いって言ってるんじゃない？それに家で授業を受ける事ができるのよ。パジャマのままでもいいし。こんな楽なことはないわ。
- B: そうというのが良くないと思うんだ。家から出ない。誰にも会わない。まるで引きこもりだよ。太陽の光に当たらないともやしのような人間になってしまうよ。不健康すぎるよ。
- A: けんちゃん。まるでお父さんみたい。
- B: 考え方は古いかもしれないけど、便利だから、安いからって、それがいいとは限らないんじゃないかな。というか、そういうのを追い求めているから、現代人は色んなところで、その歪み<sup>ひず</sup>が出てきているんだと思うよ。
- A: あ～また、けんちゃんのいつものやつが出た…はいはい。